

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	04 07 16	中期総合計画主要施策番号	3-01	担当課	部・課	健康福祉部 健康長寿課	
事業名	難病対策事業				内 線	2635	
					E-mail	kenko-choju@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H10 ~	根拠法令等	難病特別対策推進事業実施要綱(国)、難病相談・支援センター事業実施要綱他(県)				
実施方法	県が直接・委託(信州大学医学部附属病院、難病患者連絡協議会)					国庫・ 県単	国庫補助事業

事業の概要等	目的(必要性)	・難病患者に対する総合的な相談・支援や、地域における受入病院の確保を図る。 ・在宅療養上の適切な支援を行うことにより、安定した療養生活の確保と生活の質の向上を図る。
	対象	難病患者等
	目指すべき姿	・地域で生活する難病患者及びその家族の日常生活における相談・支援、地域交流活動の促進及び就労支援などを行う拠点施設として、長野県難病相談・支援センターを適切に運営することにより、患者等の療養上、日常生活上での悩みや不安等の解消を図る。 ・在宅で療養する重症難病患者が、症状の悪化等の理由により入院が必要になった場合に、適時、適切な入院施設の確保が行えるよう、また入院患者が円滑に在宅療養へ移行できるよう、県内の医療機関等による難病医療ネットワークを構築することにより、もって患者の在宅療養上の不安解消を図る。
	事業内容	・難病相談・支援センターの設置(運営は信州大学附属病院に業務委託) ・難病医療ネットワーク推進事業の実施(運営は信州大学附属病院に業務委託) ・神経難病医療連絡協議会の開催 ・保健所における相談会や患者・家族交流会の開催 ・難病医療協力病院の設備(人工呼吸器)整備に係る補助 等

事業コスト	区分	単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 委託料 10,510千円 報償費 655千円 旅費 308千円 需用費 185千円 役務費 660千円 使用料 131千円
	最終予算額 (A)	千円	12,720	12,449	11,721	
	決算額 (B)	千円	12,720	12,499		
	B(H24はA)のうち一般財源	千円	6,360	6,225	5,862	
	概算人件費	人	3.50	3.50	3.50	
	概算事業費 (B(H24はA)+C)	千円	41,830	41,352	40,624	
事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度(見込)	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 他に、難病患者連絡協議会が行う相談(県委託)、保健所で保健師が対応する相談がある。 (効率指標 算出式) 保健所主催医療相談会経費/開催回数
	難病相談 延べ件数(相談センター分)(活)	件	1,588	1,863	1,600	
	保健所主催の医療相談会(活)	回	64	63	60	
	入院調整実績(難病医療ネットワーク推進事業)(活)	人	115	144	110	
	相談延べ件数(難病医療ネットワーク推進事業)(活)	件	741	1099	750	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 保健所主催の医療相談会の1回当たりコスト	円	16,828	15,286	13,683	

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価	評価区分
	・難病患者からの多様な相談、問い合わせに答えることができるよう、難病相談・支援センターを中心とした相談支援体制を構築する。 ・難病相談・支援センターにおいて、就労相談等にも対応するため、ハローワーク等との連携を図る。 ・重症神経難病患者の入院調整業務を行う難病医療ネットワーク推進事業を実施。 ・神経難病医療連絡協議会を開催し、協力病院等との連携を推進する。	・難病相談・支援センターに寄せられた相談は1863件に上り、関係機関と連携し対応した。 ・また就労相談も25件寄せられ、ハローワーク等と連携し対応した。 ・難病医療ネットワーク推進事業においては引き続き入院調整を実施した。(33件) ・神経難病医療連絡協議会を12月に開催し、関係医療機関との意見交換等を行い、連携の方策等について協議した。	b 期待どおり

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定 の 説明	・難病患者は増加傾向にあり、またH21に国により対象疾患が追加されたため、相談・支援等のニーズも増加・多様化している。 ・在宅難病患者の支援充実のため、H21から難病医療ネットワーク推進事業により、重症神経難病患者の入院調整業務を開始し、現在協力病院の拡充を図りつつ対応している。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)	・難病相談・支援センターに寄せられる患者等からの相談支援等のニーズは増加・多様化している。 また地理的な条件もありセンターだけでは解決が困難な場合も多いことから、益々関係機関相互の連携を深めていく必要がある。
	特記事項	